

108. 土佐 誠, 加藤隆子\* (東北大理, \*名大理): Intergalactic matter の accretion と Soft X-ray background  
 109. 海部宣男, 近田義広, 森本雅樹\*, 赤羽賢司\* (東大理, \*東京天文台): 6メートル・ミリ波望遠鏡 (IV)  
 110. 長根 潔, 宮沢敬輔, 宮地竹史, 海部宣男\* (東京天文台, \*東大理): Ori A の 70 GHz 連続波観測

〔午後〕 (1時より)

111. 田原博人, D. Morris, 川尻轟大\*, 昆野正博\*\* (東京天文台, \*電波研鹿島, \*\*京大理): 7.2cmでの電波源の直線偏波の観測  
 112. D. Morris, 田原博人 (東京天文台): 電波源の Depolarization  
 113. 福井 満, 川尻轟大\*, 河野宣之\*, 井上 允 (名大理, \*電波研鹿島): Radio source の polarization の観測  
 114. 大師堂経明, 田原博人\*, 川尻轟大\*\*, 尾嶋武之\*\*, 河野宣之\*\* (東大理, \*東京天文台, \*\*電波研鹿島): Radio sources の時間変化の観測 (III)  
 115. 森本雅樹, Y. L. Chow\* (東京天文台, \*カナダ・ウォータールー大): 二次元アレイ干渉計の位相較正について  
 116. 平林 久, 森本雅樹\* (東大理, \*東京天文台): 超合成アレイの数値実験  
 117. 笹尾哲夫 (東大理): 乱流媒質における密度ゆらぎの形成  
 118. 近藤正明 (東大教養): Fragmentation での質量分布について  
 119. 富田憲二 (広大理論研): 宇宙膨張の初期における不規則運動  
 120. 田辺健茲, 富田憲二, 成相秀一 (広大理論研): 膨張宇宙における流体力学的不安定性  
 121. 久保守正 (日本天文学会): 宇宙モデルの一つの分類  
 122. 杉本大一郎 (東大教養): 藤井の重力と白色矮星の質量・半径関係  
 123. 荒井賢三 (東北大理): 銀河系外宇宙線について

学会だより

松永賞受賞候補者推薦について

松永記念科学振興財団より, 下記要項にしたがって, 松永賞受賞候補者を推薦されたい旨の依頼が学会あてにありました。適当な方がありましたら, 学会庶務理事あてに御連絡下さいませようお願い致します(5月末まで)。

記 (昭和47年度松永賞贈呈実施要項抜萃)

1. 本年度の当財団の科学研究に対する褒賞「松永賞」は, 自然科学 (理学・工学系) の分野における基礎的研究で, 学術上業績が顕著であると認められるものを対象とするが, 個人的研究でも, 共同研究でもさしつかえない。
2. 「松永賞」の対象者は大学に在職し, 昭和2年12月1日以後誕生の少壮有為な科学者中から求める。
3. 「松永賞」は1口100万円とし, 本年度は3名以内を予定する。

天文学会定款改訂の理事会案作製の経過について

昨46年春季年会での申し合わせ<sup>1)</sup>により, 理事会は, 運営検討委員会の答申定款案に対する修正案<sup>2)</sup>を集め, 秋の年会でそれらを会員の検討にかけた。その上で理事会原案を作る作業は, 海野・牧田・大谷の三理事によっ

て進められ<sup>3)</sup>, 47年2月の理事会でその試案が提示, 討議された。その結果はなお一致に至らなかったもので, さらに海野・大谷・高瀬 (牧田入院のため交代) の三理事が作業を続けた上, 4月の理事会での検討, 調整を経て, ほぼつぎのような理事会案の骨子がまとまった。

1. 会員構成 (名誉会員・賛助会員以外) は, 特別会員A, 特別会員Bおよび通常会員とする。特別会員Aは欧文報告と天文月報, 特別会員Bと通常会員は天文月報の配布をうける。
2. 評議員の選出は特別会員の互選 (ただし自薦・他薦も可) とし, 特別会員Aより選出される評議員数は, その総数の2/3以上とする。
3. 必要があれば, 問題別に担当評議員をおくことができる。
4. 会員種類別の年間会費 (細則事項) は, 学会の財政を考慮して今後の検討調整を要するが, つぎの案を一応の目安とする。

特別会員A 5,500円

特別会員B 2,500円

通常会員 1,800円

- 1) 天文月報46年6月号167頁, 2) 同46年10月号281頁, 3) 同46年12月号338頁。

(庶務理事 高瀬文志郎)